



NEW 長中通信

2022/11/7

No. 6

文責

東西中学校長

今年度、2回目（通算7回目）の長野原町立学校統合準備委員会が、去る10月31日に、@長野原（住民総合センター）で開催されました。

今回は、それぞれの進捗状況について、中学校統合は東中：中澤校長より、小学校については北軽井沢小：青木校長より説明がありました。

さらに会議の中で、詩人の谷川俊太郎氏作詞による『長野原中学校校歌』が披露されました。

長野原中学校校歌

作詞 谷川俊太郎
作曲 谷川賢作

やまやま みまも
山々に見守られ
なが かわ だ
流れみなぎる川に抱かれて
きのう じぶん きょう じぶん
昨日の自分を今日の自分へ
きょう じぶん あす だれ
今日の自分は明日の誰かと
はげ ゆめみ
ともに励みともに夢見て
せかい むす
ふるさとを世界に結ぶ
しぜん まな ひと たつと
自然に学び 人を尊び
あさ そら くる うちゅう
朝の空 夜の宇宙へ
くにに さいかい こ
国々の境を超えて
こえ
声はとどく

私は赤ん坊の頃から夏は北軽井沢に父が建てた小さな家で過ごしていました。東京の家とは全く違う自然の中のその家は私にとっては心の故郷です。

二十一才の時に出版された私の最初の詩集「二十億光年の孤独」には、「山荘だより」という題名の誌が四篇含まれています。

北軽が長野原町にあると知ったのは大人になってからで、特に車を運転してドライブを楽しむようになってからは長野原がグッと身近になりました。そんな私の経験が校歌の歌詞にはこめられています。

皆さんが長野原の自然を心に秘めて、校歌を歌ってくださることを念じています。

谷川俊太郎

幼稚園から大学まで、父との園歌、校歌の共作も五十校を越えました。同じ曲調にならないよう、父も私も毎回創意工夫を凝らしています。

作曲においては、二長調で始まり、途中、口長調に転調してダイナミックに盛り上げ、また静かに二長調に戻り、終止は口長調という今までに無い初めての試みをしました。

父の作詞構成も既存の校歌にはない個性的な語り口だと思います。

この新しいユニークな校歌をずっと歌い継がれて頂ければ、父も私もとても嬉しいです。

二人にとっても第二の故郷とも言えるこの長野原の地で。

谷川賢作

東西中学生の交流

今年度中に、東西中学生の交流を進めていきますが、その第一弾として、生徒たちによる交流会を11月2日（水）に、東中学校で実施しました。



当日は、東中学生の案内で校内を見学したり、教室でゲームをしたりして交流できました。

令和5年4月からの学校生活に向けて

1 通学バスについて



10月14日（金）に、教育委員会担当者より西中1・2年生、応桑小と北軽井沢小の6年生を対象に通学バスについての説明会を実施しました。

通学には3路線を基本として、朝（登校）1便、放課後（下校）2便を基本として調整しています。また、部活動のない日や、休日の部活動実施の日には下校のバス便は1便で対応する予定です。

今後はバス会社の選定や、ルート・乗降場所・乗降時間等を詳細に検討して決定していきたいと思います。

2 校時表について

学校で1日を過ごすタイムテーブル（時間）を『校時表』と言います。

この決められた時間に合わせて生徒達は学校生活を送ります。その大まかな時間の案を紹介します。

＜令和5年度 校時表（案）＞

朝 読 書	8 : 1 0
短 学 活	8 : 2 5
1 時間目開始	8 : 3 5
～休み時間～	各 1 0 分ずつ
給 食	1 2 : 2 5
5 時間目開始	1 3 : 3 5
6 時間目終了	1 5 : 2 5
部活動開始	1 6 : 0 0

・月曜日は5時間授業が基本です。
（部活動なしで 15:00 下校）

・部活動の朝練習はありません。

・部活動終了は、季節により 17:45、
17:25 になります。